

# 授業改善書

科目名	国際会計論
担当者	李 相 和

## 授業の概要

本講義は、国際理解教育の一環として、会計基準の国際的比較研究の成果を総合し、国際会計の最終的目標（会計基準の国際統合）の実現に向けての努力の歴史、現状および将来の課題を学ぶものである。

## 授業の問題点

受講態度はよいが、受講生の授業に対する関心・意欲がやや弱かった。授業内容について、板書などは改善すべき点は残っている。基礎的な会計知識が足りない学生には授業内容が難しく感じたと思う。

## 学生の授業満足度

全般的には、期待した基礎レベルには達して合格(最低合格水準)に達し、ほとんどの学生がここまで到達することができた。しかしながら、一部では、基本的に期待されるレベルを超え、高い独立性、創造性を示すことができる者や、期待した基礎レベルに達していない者もいる。

## 授業改善の課題と方策

授業の満足度を高めるために、また積極性を持たせるために、日本企業のIFRS適用の事例を多く取り上げるなど、会計基礎に関する実例や話題を取り上げ、わかりやすく説明できるように工夫したい。

板書や聞き取りなどの指摘については、これからも真摯に受け止め、気を配っていきたい。

## その他

科目名	財務諸表論Ⅱ
-----	--------

# 授業改善書

担当者	李 相和
-----	------

## 授業の概要

本講義は、財務諸表論 I の内容をふまえ、企業会計の理論を学ぶものである。授業では、会計諸規則や会計の諸概念を体系的に説明するとともに、主な会計処理問題を会計制度に織り込みながら解説するものである。

特に、キャッシュフロー計算書の作成と連結会計、時価主義会計、減損会計など企業社会が直面している会計処理問題を具体的に解説する。

## 授業の問題点

- ・受講者が多かったが、必ずしも意欲的であるとはいえない。
- ・板書がみにくいとの指摘があった。
- ・出欠を取った後にすぐ退室してしまう場合が何度あった。

## 学生の授業満足度

全般的には、期待した基礎レベルには達して合格(最低合格水準)に達し、ほとんどの学生がここまで到達することができた。しかしながら、一部では、基本的に期待されるレベルを超え、高い独立性、創造性を示すことができる者や、期待した基礎レベルに達していない者もいる。

## 授業改善の課題と方策

授業内容が難しくならないように、会計の基礎を固めながら、要点解説や新聞などの資料を用いて、わかりやすく説明できるように工夫したい。また、丁寧に話せるように努力したい。

大学生としての自尊心を尊重するが、出欠を取った後にすぐ退室してしまうようなことは避けてほしい。常識的な授業態度を守って欲しい。

## その他